



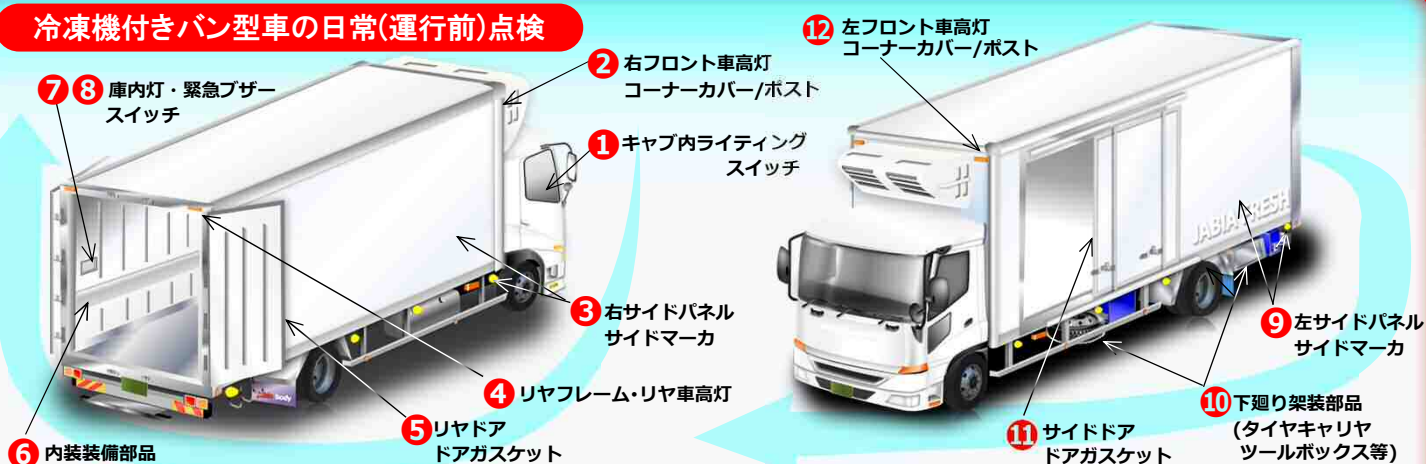
バン型車安全輸送ニュース

冷凍機付きバン型車の日常(運行前)点検編

定温輸送・配送業務に従事されている皆様へ

- ・ 冷凍機付きバン型車は常に品物の温度(品温)を一定に保ちながら輸送することを目的とした車両で、品物の品質を低下させないために常に過酷な環境下で輸送しています。
- ・ 冷凍機が正常に作動しているか、また品物が適切な温度に保たれているかの管理も重要です。
- ・ 車両の能力を十分に発揮するためには、日常の点検・メンテナンスが必要です。

冷凍機付きバン型車の日常(運行前)点検



点検部位	点検内容	点検後の処置
① キャブ内ライティングスイッチ	キャブ内のサイドマーカ・車高灯のライティングスイッチを点灯位置にする	走行状態に戻す
② 右フロント車高灯・コーナーカバー/ポスト	フロント車高灯の点灯確認・コーナーカバーやポストの損傷	⇒修理依頼
③ 右サイドパネル・サイドマーカ	サイドパネルの損傷や錆・サイドマーカの点灯確認	⇒修理依頼
④ リヤフレーム・リヤ車高灯	リヤフレームの損傷・リヤ車高灯の点灯確認	⇒修理依頼
⑤ リヤドア・ドアガasket (ロック装置,ヒンジ,ドアシール部等)	ドア金具類の損傷やボルト緩み・ ドアの開閉作動確認・ドアガasketの破れ確認	⇒ボルトの増締め 修理依頼
⑥ 内装装備部品	内装装備品の損傷等の確認 (ラッシングレール・エアリブ・面体等)	⇒修理依頼
⑦ 庫内灯・ON/OFFスイッチ	庫内灯の損傷や腐食・スイッチONで庫内灯の点灯を確認	⇒修理依頼
⑧ 庫内緊急ブザースイッチ	スイッチの損傷確認・スイッチONでホーン又は電子ブザーの警告音吹鳴確認	⇒修理依頼
⑨ 左サイドパネル・サイドマーカ	サイドパネルの損傷や錆・サイドマーカの点灯確認	⇒修理依頼
⑩ 下廻り架装部品 (タイヤキャリア,ツールボックス等)	Point1 スペアタイヤの取付状態・ボルトの緩み、ガタ、損傷の有無の確認 Point2 下廻り部品や結合部の緩み、ガタ、損傷の有無の確認	⇒ボルトの増締め 修理依頼
⑪ サイドドア・ドアガasket (ロック装置,ヒンジ,ドアシール部等)	ドア金具類の損傷やボルト緩み・ ドアの開閉作動確認・ドアガasketの破れ確認	⇒ボルトの増締め 修理依頼
⑫ 左フロント車高灯・コーナーカバー/ポスト	フロント車高灯の点灯確認・コーナーカバーやポストの損傷	⇒修理依頼

冷凍機付バン型車の修理依頼は専門的な技術・設備のある各メーカー指定サービス工場でお受けください。

Point1

スペアタイヤとツールボックスは、3ヶ月毎の定期点検が義務付けられています。

【対象】車両総重量8トン以上のトラック

- ・ スペアタイヤキャリアの緩み、ガタ及び損傷(手で揺すったり、目視やスパナなどで点検)
- ・ スペアタイヤの取付状態(足や手で強く押すなどして『緩みやガタがないか』取付状態を点検)
- ・ ツールボックスの取付部の緩み及び損傷(目視やスパナなどで点検)

Point2

また、下廻り部品や結合部も法定点検項目です。

『緩み、ガタ及び損傷がないか』目視やスパナなどで入念に点検してください。

- ・ 下廻り部品…サイドガード、燃料タンク、リヤフェンダ、リヤバンパ、リヤ灯火器
- ・ 結合部…Uボルト・滑り止め、対向ブラケット

⚠️ 点検の前に(注意事項)

- ・ 平坦な場所でエンジンを停止し、パーキングブレーキは確実に効かせ、輪止めを設置してから行ってください。
- ・ ボデーやドアの上部など、高所での点検は落下の危険性がありますので十分注意してください。

お車の日常(運行前)点検と同時に冷凍機も合わせて日常点検しましょう。

冷凍機の日常点検

各部の名称とはたらき (主要部品)

1 エバポレータ
冷媒を蒸発させ、庫内の熱を吸収することで庫内を冷やします。

2 コンデンサ
エバポレータで吸収した熱を庫外に放出し、冷媒を気体から液体にします。

3 コンプレッサ
サイクル内の冷媒を循環させるための圧縮機で、エンジンの駆動力を利用して作動しています。

4 サイトグラス
冷媒のガス量や流れを点検するのぞき窓です。冷媒量や詰まりなどのサイクルの状態が判断できます。

5 キャビンコントローラ
冷凍機の運転制御を行います。

6 スタンバイユニット
外部からの電源を使用しユニット内のコンプレッサを駆動させることで、エンジン停車中でも冷凍機を動かすことができます。

7 電源ボックス
外部からの電源をスタンバイモーター駆動用の電圧に変換させる装置です。

(○印：運転前点検、●印：運転時点検)

装置名	点検部品	点検内容	点検後の処置	
直結式冷凍ユニット	1 エバポレータ 	○ 汚れ、目詰まり (目視) ● 庫内ファン送風 (聴感)	⇒ 清掃 付着物 (着氷等) の除去 ⇒ 修理依頼 (風が出ないとき)	
	2 コンデンサ 	○ 汚れ、目詰まり (目視) ● ファンの異音 (聴感)	⇒ 熱交換器の洗浄 (高圧洗浄禁止) ・ 付着物の除去 ⇒ 修理依頼	
	3 コンプレッサ (○印オイル点検箇所)	○ オイル漏れ (目視) ○ 駆動ベルトの状態 (目視) 損傷、ひび、摩耗、削れ ○ 本体及び取付ブラケットのボルト緩み ● 本体及び駆動ベルトからの異音 (聴感)	⇒ 修理依頼 ⇒ 調整依頼又は修理依頼 ⇒ 修理依頼 ⇒ 修理依頼	
	4 サイトグラス (運転10分以上経過後)	● 気泡の状態 (目視) ※ 安定状態で確認	○ 適量 × 不足 × ほとんどない ほとんどが透明 気泡の流れが見える 霧のようなものが流れているのがわずかに見える	⇒ 修理依頼 (取付位置はコンデンサ付近の見える場所にある)
	5 キャビンコントローラ 	● 表示の異常 (目視) エラー表示 ● 予冷時の冷え具合	 荷室冷え不良	⇒ 点検依頼 ⇒ 点検依頼
スタンバイユニット	6 スタンバイユニット	● 作動音の異常 (聴視)	⇒ 相談	
	7 電源ボックス 	○ ソケットの点検 (目視) ・ 端子の損傷や摩耗 ・ 内部への浸水、ゴミや埃の付着 ○ 電源コードの老化、劣化、損傷 (目視)	⇒ 修理依頼 ⇒ 修理依頼	
	※プラグや電源コードに熱を感じた場合は、損傷の恐れがあるため使用を取りやめてください。		⇒ 点検依頼	

※依頼 (修理/調整/点検) 及び相談については、各冷凍機メーカー指定サービス店にお願い致します。

冷凍機管理者 (冷凍機所有者) の遵守事項について

- ・ 冷凍機付バン型車に使用されているフロンガスは「改正フロン排出抑制法」により大気放出を禁止されています。
 - ・ **フロン排出抑制法の責任者は管理者です。**
機器の簡易点検(3ヶ月に1回以上)やフロンガスの回収等について遵守されない場合は、法改正により行政指導などを経ることなく即座に刑事罰が適用されます。
- 詳細については各冷凍機メーカーまたは(一社)日本冷凍空調工業会ホームページをご覧ください。